

**26年度敬念寺研修旅行で親鸞聖人に出会う**  
**一人形のお寺・西宮寺で聖人のご一生にふれて**



(親鸞聖人流罪地「越後」での布教の様子 26.11.21西宮寺にて撮影)



発行所  
 岡谷市郷田一丁目6番3号  
 TEL(0266)22-2524  
 金松山 敬念寺  
 発行  
 敬念寺門信徒会  
 編集  
 会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや  
 彼(か)の人との  
 出会(であ)いの時間

小僧の目

▼仏説阿弥陀経は浄土真宗の根本聖典「浄土三部経」の中でも一番親しまれているお経です▼現にお寺での法要・行事の際や、皆さんの法事などでも多く用いられているからでもあります▼今年も春彼岸の時季となりました▼お彼岸の世界は極楽浄土とも言います、阿弥陀さまのさとりを説き、私たちがさとりの世界に導こうと働きかけている様子が示されています▼後半には「六方段」のくだりがあり阿弥陀さまの教えを信ずるならば、この身がある中は罪悪深重、煩惱具足の身は変わらないけれど、この上ない利益を恵まれ、私たちの生活に新たな生き方が恵まれると説かれています▼科学技術が発達した現代でも相変わらず占いや、人相、家相、今日の運勢など新聞やテレビを賑わし、吉凶禍福にまどわされたり利用したりしています▼今年もこの地は勿論、全国の神社仏閣での節分の催しもの題目が商売繁盛、病氣平癒の「占相祭祀」現世利益のオンパレードでした▼北陸新幹線の金沢までの延伸・善光寺の御開帳を狙った、たくましい商戦、その波はやがて当地で迎える「御柱」の祭事にも押し寄せるでしょう▼親鸞聖人のお書き物「一念多念証文」には「護」はところをへだてず、ときをわかず、ひとをさげらはず、信心ある人をば、ひまなく、まもりたまたふとなり」とあり、すでに阿弥陀さまが私たちを護つてくださっています▼その道理を自覚し、生活の指針として迷信的信仰に惑わされない、頼らない念仏者としての生き方をしたいものです▼この生き方こそ朝夕唱和する浄土真宗の生活信条「み仏の教えにしたがい、正しい道を聞き分けてまことのみのりをひろめます」の心だと思えます。

釋 玄真

ご寺院行事

- 3月21日(土) 春の彼岸法要 前10:00  
 講師 赤川浄友先生(東京都)
- 6月28日(日) 第4回早朝公開講座 前7:00  
 講師 林修一先生(塩尻市)
- 7月11日(土) 第32回ファミリー参拝 (キッズサンガ) 後6:00

\*キッズサンガとは「子どもの声が聞こえるお寺に」の運動

ご定例会

- 3月20日(金) 講師 赤川浄友先生(東京都)
- 4月20日(月) 講師 富岡隆弘先生(新潟県)
- 5月20日(水) 講師 八幡徹信先生(岐阜県)
- 6月20日(土) 講師 結城道哉先生(愛知県)
- 7月20日(月) 講師 増井浄見先生(兵庫県)
- 8月20日(木) 講師 嶋倉崇雄先生(長野県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

故牛山成二様追悼記事

元門信徒会長牛山成二様におかれましては、昨年十二月十八日九十歳の天寿を全うされ、往生の素懐をとげられました。

氏は十一年の長きにわたり門信徒会長を歴任、退任後は門信徒総代・寺責任役員を務められました。

今日の立派な堂宇となつた敬念寺の会館・庫裡建設、本堂屋根改修、大遠忌記念事業参拝ホール建設等大事業の中枢として重責を担ってこられました。

執り行われたご葬儀には、門信徒会長他役員が参列させていただきました。尊前に奉呈された門信徒会長の弔辞を紹介し、故人の功績を偲びたいと思います。



弔辞

宗教法人敬念寺門信徒総代・責任役員並びに元敬念寺門信徒会会長であられた故牛山成二様のご葬儀にあたり、敬念寺門信徒を代表して、哀悼の言葉を申し上げます。

牛山成二様は、昭和六十三年に請われて敬念寺門信徒会長に就任され、平成十一年まで実に十一年の長きにわたり、敬念寺のために献身的にご奉仕下さいました。

その間、昭和五十九年敬念寺長

期構想研究委員会の答申を受け、その構想実現のために、平成二年より平成五年まで四年の歳月をかけて、開山六十周年記念事業として会館・庫裡を建設し、また平成十年には本堂の屋根を寺院としての風格を備えた破風屋根に全面改修するなど、枚挙にいとまなく、常に私ども門信徒の先頭に立ちご尽力下さいました。

会長を退かれました後も敬念寺門信徒総代・責任役員として住職を支えられ、私共の相談役として今日までご指導戴きました功績は誠に大なるものがあり、当山の歴史にその名を永く残して参ります。

いま、尊いご生涯を終え、阿弥陀如来様のご浄土に赴かれることは、寂しさ一入であります。のちに残る私共が、当山の益々の隆盛と、この地にお念仏のみ教えが人々の心の支えとなるよう、教化伝道に一層の努力をすることが、牛山成二様のお心にお応えする道だと思えます。

このうちは、お浄土よりご遺族並びに当山の行く末を見護り戴きますようお願いし、門信徒を代表してお別れの言葉といたします。

平成二十六年十二月二十一日

敬念寺門信徒会

会長 千原 博幸



— 敬念寺のあるべき姿の検討と対策構築に向けて —  
お寺360度診断と「全お世話人対象」アンケート・長期保全営繕診断を実施しています!

新体制となった門信徒会では、平成二十六年事業計画に、「寺院の将来あるべき姿の検討と対策」を掲げ、常任委員会で検討を行っています。

その中で、まず現状の姿等を把握し今後の活動に生かしていくため、「お寺三百六十度診断」と「全お世話人対象アンケート」等を実施することを決定し、さる二月から具体的に始めています。

お寺三百六十度診断

お寺の無形の価値の状態を包括的に把握し、その価値に磨きをかけるためのものです。一般社団法人「お寺の未来」に調査を委託して進めています。現旧役員、門徒、他寺院、近隣住民、寺関係事業者、寺族からそれぞれ対象者を抽出しアンケートに答えていただいています。回答は同法人事務局に直送され、集計・分析され、診断結果は四月に送られてくる予定です。

得られる成果は、

- ◎お寺の真の姿を知り優先順位をつけていく手がかりとなる
- ◎受け手視点の評価により、気付かなかつた課題・強みが見える
- ◎率直な「生の声」が聞けて、寺の活動の妥当性が高まる
- ◎全国のお寺の平均スコアとの比較で客観的な立ち位置がわかることなどが期待されます。

お世話人向けアンケート

全お世話人を対象に、「匿名」によるアンケートをお願いいたします。十七項目の質問に丸印及びコメントを付けていただきます。

三月十五日までに回答していただき、集計・分析してまいります。

四月の年次総会で報告(中間)、詳細は敬念寺だよりで報告する予定で進めています。

寺院長期保全・営繕診断

将来の営繕に備え、平成十五年から「営繕積立」を行ってまいります。

寺院施設の中長期的な保全・営繕の方策を検討するため、専門業者に診断及び見積もりを依頼し検討を始めています。

短期的に実施すべき改修等はない見込みですが、寺院施設を良好に保つ上で、いづれ必要となる保全・営繕対策について検討を進めてまいります。

寄稿

—亡き友といつまでも—

神奈川県海老名市 山崎 隆良



友人の命日に  
お参りして、もう十五年の月日が経ちました。友人の名は飯吉

弘行君。彼とは、二十五年前オーストラリアに約一ヶ月間、ホームステイを含めた短期語学留学プログラムに参加した中で知り合い、同じ歳の弘行君とは直ぐに打ち解け意気投合しました。

帰国後も、サーフィンの好きな彼と、スキーが趣味だった私は、夏は彼が好きなサーフィンで鎌倉の海に、冬は私がスキーで諏訪に来て、年二回程の行き来を続け、お互いの家に泊まったりスキーを

教えて貰ったりして交流を続けていました。

しかし、平成十二年の年末に差し掛かった頃、一通の喪中葉書が私に届き、その文面に弘行君が亡くなったと記されていました。

何かの間違いではと、すぐに彼の家に電話しましたが、間違いのない事実を告げられ、大きな衝撃と悲しみでいっぱいになったことは今でも忘れません。

直ぐに仲間に連絡し、彼らと共に「何故？」を繰り返しながら、とにかく一刻も早く手を合わせ合掌したいと自宅を訪問しました。

ご両親から、事情と共に弘行君は私の地元・横浜で亡くなったことを聞かされ、改めて大きなショックと悔恨に襲われました。

何故横浜だったのか、何故一緒に居なかつたのか……。一緒に

居ればこんなことにはならなかつたのに……。等々。

弘行君は私の親友でした。優しく照れ屋ではにかみ屋で大人しい性格でしたが、芯のあるいい奴でした。そんな弘行君が突然この世を去り、残されたご両親の心痛を思うと言葉もありませんでした。

又、何もできなかったことが、ご両親に申し訳なく思いました。

今さら直接何かをしてあげられる訳もありませんが、友として何ができるのか思いを巡らせ、命ある限り、出来る限り命日に墓参りに行こう。そう決めました。

最初のうちは墓参りだけでしたが、**命日の朝はご両親がお寺にお参り**されていることを知り、言葉を交わしたくなって、又、弘行君との絆を新たにするために、私も同じ朝に参拝させていただくことにしました。そのことが続き、ご両親のことをお父さん、お母さんと呼べる間柄になりました。

又、供養のためお宅にも伺い、仏前に手を合わせ、ご両親と近況や世間話をゆつくり語り合い、とても素敵な時間を過ごします。そしてご両親の健在を喜び、又来年も来るよと伝えて、うれしい気持ちで帰路についています。

弘行君、君のことは絶対に忘れ

ないし、命日に遇えることを楽しみにしています。

平成二十八年〜二十九年

本山・西本願寺

「伝灯奉告法要修行」の

ご消息発布される！



(ご消息を発布される専如ご門主)

平成二十六年六月六日、前ご門主の跡を承けて、**第二十五代専如ご門主**が法統を継承されました。

『ご門主は一月十六日、本山の御正忌報恩講ご満座後、御影堂で「伝灯奉告法要」についての消息』を発布された。

伝灯奉告法要は、ご門主が法統を継承されたことを、仏祖の御前に奉告するとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを期するもので、平成二十八、二十九年に修行されることになった。』

(本願寺新報一月二十日第三一九〇号 第一面から引用)

# 「彼岸」特集

## 紙上ミニ法話

私たちが生きている此岸しがんは迷いの世界。彼岸とは悟りの世界・浄土の世界。

此岸から彼岸へ、たしかに早く渡る道を示されたのが親鸞聖人です。

彼岸には、仏法を聞き、阿彌陀さまとの出会いをはたしたいものです。

### 彼岸

「春分の日」「秋分の日」を、彼岸の中目といえます。日本には、様々な仏教行事があり、国民の間に定着していますが、その中で国民の祝日に定められているのは、「春分の日」と「秋分の日」のみです。

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、一般的には彼岸のころには厳しい寒さや暑さもやわらぐころ、と理解されています。暑さも寒さも所詮この世の苦痛です。彼岸、すなわち悟りの境地にいたれば一切の苦はありませぬ。ですから彼岸の中日には日付以上の深い意味があるわけです。

ところで、彼岸の中目とはどんな日でしょうか。この日は太陽が真東から昇り、真西に沈む日です。ちょうど昼と夜の長さが同じになる日です。

一年に二回ある最もバランスのとれた日、これが仏教の説く中道の教え、どちらにもかたよらない心に相通じる、とされているのです。彼岸とは季節の変わり目だけではないのです。

### お釈迦様と彼岸

お彼岸は日本独自の仏教行事です。インドにも中国にも、この行事はありません。しかし、日本で営まれている彼岸の行事が仏教と関係ないわけではありません。

お釈迦さまも『法句経』（仏教の初期の経典）の中で、彼岸について述べています。その言葉とは――

人々が多いが、彼岸に、  
達する人は少ない  
他の(多くの)人々は、  
こなたの岸の上で、  
さまよっている

彼岸という言葉は、彼の岸、すなわち向こう側の岸を意味しています。それに対して、こちら側の岸が此岸です。

此岸とは、迷いと悩みの世界です。彼岸とは悟りの世界、浄土の世界です。

彼岸とは悟り世界、浄土の世界へ渡らせていただくための、ご縁をいただく行事です。

お釈迦さまの言葉はそのように教えているのではないのでしょうか。

### 親鸞聖人と彼岸

浄土真宗では、お彼岸だからといって、先祖供養の必要性を説きません。

親鸞聖人は追善供養という考え方を否定されています。

実際、親鸞聖人は『歎異抄』の中で次のように述べています。

「親鸞は父母の孝養のためとて、一辺にても念仏申したること、いまだ候わず」

墓参りも念仏も、先祖や亡き父母のためだけの追善供養であってはならない、ということでしょうか。だからといって、親鸞聖人が先祖、父母を軽んじているわけではありません。

お念仏は、先祖、わが父、母のためだけ、という閉じられた世界で称えるものではなく、一切の生あるもののために称えるべきものなのです。念仏を称えている、この私のためでもあるのです。

実際、親鸞聖人は「一切の有情はみなもつて、世々生々父母兄弟な

り」とも述べています。念仏が先祖のためだけでは、本当の孝養にはならないということです。

### お彼岸と墓参り

お彼岸と言えば、すぐに思いうかべるのはお墓参りです。日ごろは合掌することのない人も、この時ばかりは掌を合わせます。

お墓にお参りし、お線香をあげ、花を供えます。この日は静かに自分の生き方などを自省したいものです。

お墓とは、わが家の先祖さまの遺骨が安置されている場所です。常に掃除しておきたいものです。

しかし、お墓参りしたらそれのことたりののでしょうか。

浄土真宗の教えでは、故人はすでに浄土に往生しているのだから、先祖のお墓参りも先祖供養とはちがうわけです。

しかしながら、先祖の墓参りをしなくてもよい、ということではありません。愛する故人への想いは忘れがたいものです。

お彼岸には、先祖、往生をとげた父母を偲び、お念仏を申したいものです。そして浄土を偲び仏法に耳を傾けたいものです。

お墓とは故人が眠る場所ではなく、故人を偲ぶよすがなのです。

一門信徒会員投稿ひろば

報恩講に参拝して

岡谷市 武井 正巳

コールガンダーの歌声は素晴らしかったです。女性の美しい歌声と男性の低音のハーモニーが印象深く感動しました。又「娘たちよ」の曲の歌詞は心に沁みま

した。ゆっくり味わいながら読み返してみたいと思いました。

朝食のお齋は名物敬念寺汁を今年もおいしくいただきました。

「おおくの命と皆様のおかげによりこの御馳走をめぐまれました深くご恩を喜び有り難くいただきました」と合掌してから箸を付けます。ところが、テレビでは若い女性などが大口をあけて、肉や魚などの料理を毎日のように食べて見せます。そこには、慈しみや感謝の心など見られず、わがもの顔の映像があるのみです。

テレビは子どもも見ています。私たちは「食」に対する心の隔たりをどう理解したらよいのでしょうか？

今、地球規模の爆発的人口増による食糧難時代の到来が憂慮され報道されております。

昔から「おごる平氏久しからず」と教えられています、さて？



(26.11.9 報恩講スナップ)



(お斎のひとこま：孫と一緒に！)



(コールガンダーの発表)

予告 第4回 敬念寺早朝公開講座

今年も早朝公開講座を下記のように開催いたします。父親が残した7ヘクタールの農地を中心にワイン用のブドウは、土づくりからをモットーに「オーナーワン」のワイン造りのお話しをお聞きます。

時・所 6月28日(日) 敬念寺本堂 前7:00~8:30  
講師 林 修一先生 (五一ワイン副社長)  
講題 「大地のめぐみ」～林農園の物語～



表紙になつかしい旧庫裡の写真が！  
(平成3年法語カレンダー：左から2番目)

平成二十六年報恩講協賛 一門信徒作品展展示物紹介 (巻瀧一夫氏提供)

編集後記

今年は暖冬の予報どおり、暖かな冬となりました。低気圧の影響によるカミ雪の日が多かったのですが、昨年のような大雪被害はなかった諏訪地方でした。

門信徒会は千原会長の下、新体制で活動し一年が経過します。

今号に概要を掲載しましたが、お寺・門信徒会の今後五十年を見通した「中・長期計画」を検討していく上の基礎資料を得るため、外部に委託した「お寺三百六十度診断」、全お世話人を対象にした独自アンケート及び寺院施設保全・営繕診断を行っています。

課題や改善点を抽出・分析してそれらの成果を基に、次年度以降役員会で検討を進め、随時皆様に報告してまいります。

暖かな良い季節となりました。彼岸法要を始め、日曜礼拝、毎月二十日の定例法話会に参拝され、仏法(ご法話)に耳を傾けていただくようお願いいたします。

また、第四回目となる「早朝公開講座」では、信州の名酒・五一ワインを巡る貴重なお話しを披露していただけたと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(白田 記)

### 研修旅行報告

昨年十一月二十一日〜二十二日の日程で北陸方面へ(大型バス一台)。初日は人形の寺・西宮寺参拝、一乗谷朝倉氏遺跡、二日目は兼六園と庭内にある重要文化財の成巽閣(加賀前田家奥方御殿)を見学。今回も、車中や宿で和やかな楽しい研修旅行となりました。今年の旅行も計画中です、皆様のご参加お待ちしております!

### 八年振りの参拝旅行

下諏訪町 内藤 永子

少しばかりの体力の衰えから、七、八年も見送っていたお寺の旅行に今年はどういう風の吹きまわしか勇氣を出して参加の決断をいたしました。

案ずるより・・・素晴らしい兼六園の散策、成巽閣の見学、朝倉氏の遺跡、親鸞聖人物語りの西宮寺など参拝の「大行動」を皆様と共に歩むことができて大きな収穫でありました。

また、ホテルでの夕食会の後、全員で肩を組み輪になって「サライ」を合唱した和やかな風景は、長野観光の添乗員さんも初めての光景だと驚いておりました。家の中に籠りきりの私には何もかも新鮮で人に会うことの大切さを教えられた旅となりました。



(好天に恵まれた旅行：兼六園26.11.22)



平成26年度研修旅行記念写真 (福井県勝山市「人形の寺」西宮寺 26.11.21)

## 春の彼岸・行事案内

彼岸とは、阿弥陀如来様のいる西方極楽浄土をさす言葉です。お彼岸には、親鸞さまに導かれて、阿弥陀様の浄土を願い、その「教えを聞く」(聞法)と受け止め、浄土往生したご先祖に感謝し、しのびたいものです。

- ・3月18日(水) 彼岸の入り 前7:00
- ・3月20日(金) 3月定例法話会 夜7:00
- ・3月21日(土) 春の彼岸法要(中日) 朝10:00

講師 赤川浄友先生 (東京都)  
講題 「三途の川は渡れない～お念仏の心～」

\*お彼岸中会館ロビーにて無人購買があります。  
\*21日は終了後お茶の接待があります。



故 原敏さんの七回忌の法要にて  
ひこ孫・栢沼 咲ちゃん (26.11.15)

No.3 シリーズ  
住職さんといっしょ!

「本願寺広報部発行・仏事のイロハ」には、水引の色は葬儀など悲しみの時は黒または黄、報恩講など普通の時は赤、その他は黄が一般的とあります。



お彼岸法要等の受付で、時折「のし袋」の表書について質問される場合があります。質問には、『赤のし袋で、「ご仏前」の方が多いいです、とご案内しています。(既刊百〇四号、八四号でも紹介されていますのでご覧ください。)

### 法要一口メモ

## 門信徒会年次総会

—4月25日(土)午後6時から開催—

総会は地区世話人等の代議員制です。地区世話人を通じてご意見をお寄せ下さい。

日時:平成27年4月25日(土)  
午後6時開催

場所:敬念寺本堂

### 議 題

1. 平成26年度事業・会計報告
2. 平成27年度事業・予算案承認の件
3. その他